

### ▶ 安否確認システム「ANPIC（アンピック）」について

地震等の大規模災害が発生した際、全学生の安否確認作業を迅速かつ確実に実施するために、安否確認システム「ANPIC」が導入されています。

地震発生時（神奈川県内または帰省先（保証人住所）の都道府県で震度5強以上の地震発生時）に、登録したメールアドレスに安否確認メールが自動的に一斉送信されます。また、台風や水害などの災害発生時や、年間3回程度のテスト送信時にもメールが配信されます。

メールを受信したら速やかに安否報告をしてください。通知の受信方法は、メールのほかに「ANPICアプリ」「LINE」もあります。各自で、より確実に受信ができる設定をしてください。

なお、神奈川県内または帰省先（保証人住所）の都道府県で震度5強以上の地震が起きても通知が届かない、または手に携帯電話がない場合は、必ずANPICサイトにログインして安否報告をしてください。

### ▶ 地震発生時の対応

- ①ゆれを感じたら＝授業・実験・作業などを一旦停止し、状況を冷静に認識しあう。緊急地震速報が流れた場合も、同様にする。
- ②頭をおおう・身をかかす＝本やノートやカバンなどで頭部をおおい、落下物・転倒物・窓際・熱湯・加熱油などから離れ、机、椅子などに身をかかす。
- ③火・ガス・電気を消す＝火を始末する。ガスの元栓を閉める。電気機器の電源を切る。
- ④逃げ道の確保＝部屋の出口を開け、落ち着いて逃げ道を確認し、避難経路をイメージする。
- ⑤火災が発生したら＝大声で火事を知らせ、火災報知機ボタンを押す。消火器・消火栓などで初期消火に努め、引火性の溶液・薬品及び可燃物を遠ざけると同時に、すみやかに「大船キャンパス総務部」に通報する。初期消火は無理をしない。
- ⑥避難指示＝教職員がいる場合は、その指示に従う。いない場合は、自ら適切に判断する。校内放送に傾聴する。

### ▶ 避難時の行動

- ①あわてず・さわがず・落ち着いて＝パニックにならない。やみくもに廊下に飛び出さない。特に階段や出口付近で走ったり、押したりしない。
- ②迅速な行動＝厨房靴ははきかえない。置き忘れた貴重品などを取りに戻らない。
- ③火災発生の場合＝煙が発生したら、ハンカチなどを口と鼻に当て、低い姿勢をとりながら避難する。
- ④エレベータは使わない＝徒歩で避難する。
- ⑤建物の外に避難する時＝頭上からふってくる飛散ガラスなどに注意しながら、第1次避難場所（大船キャンパス＝東山庭園・菩提樹の道）にすみやかに避難する。
- ⑥交通信号の確認など＝公道を横断する時は、左右の安全確認をおこたらない。余震が予想されるので、歩道橋には近づかず、これを使用しない。

### ▶ 救護・救出

- ①大声で助けを呼ぶ＝ケガをした人、救援・救出を必要とする人は、自分の存在と居場所を知らせる。
- ②安否の確認＝地震発生直前まで行動を共にしていた人が見当たらない場合は、相互に安全を確認しあう。但し、捜しに戻らない。
- ③協力と連携＝救護・救助・捜索にできる範囲で協力する。

### ▶ 帰宅するか、学内に残るか

- ①帰宅の目安＝徒歩で帰宅できる目安は、10km以内。
- ②無理をしない＝鉄道・道路など交通機関の寸断が予想されるため、無理をして帰宅しない。学内を第1次的避難所と考える。

### ▶ 学外にいる時

- ①当面の安全の確保＝最寄りの避難所へ行くか、学内に戻るか、自宅に帰るか、自ら適切に判断する。
- ②避難情報の注視・傾聴＝駅・電車・地下鉄・地下街などでの公的アナウンスに注意する。流言飛語にまどわされない。
- ③実習先・キャンプ地などでの被災＝出先の責任者の指示、引率教員の指示、及び自らの判断に従う。
- ④本学の関係者と出会った場合＝本学の関係者であることを確認した場合は、必ず声をかけあい、その後の行動を確かめあう。
- ⑤海河川に近づかない＝様子を見ることをふくめ水辺に近づかない。

### ▶ 普段の心がまえ

- ①避難経路＝安全な場所への避難経路を確認しておく。
- ②帰宅ルート＝安全な帰宅ルート・帰宅方法を確認しておく。
- ③連絡方法＝保護者などとの連絡方法及び待ち合わせ場所などを確認しておくことによって、過剰な心配を相互に抱かないように心がける。
- ④災害用伝言ダイヤル＝NTT災害用伝言ダイヤル171など、地震・噴火などの災害の発生に提供が開始される声の伝言板の使用方法について保護者などと確認しておく。
- ⑤警戒宣言＝東海地震における警戒宣言が出された時の鉄道などの運行範囲について確認しておく。
- ⑥防災訓練への参加＝防災訓練に参加し、救護・救出方法などを習得しておく。
- ⑦慢性疾患（喘息、糖尿病、甲状腺炎など）で治療中の場合は、主治医に相談し、処方薬の予備を準備しておく。
- ⑧眼鏡、コンタクトレンズを使用している場合は、予備を準備しておく。